

# 経営の状況

- 2021年9月末 -

東日本信用漁業協同組合連合会

## 1. 事業の概況

令和3年度上期につきましては、全国的に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人流抑制の必要性が高まったことから、経済活動は停滞しました。このような状況下において、当連合会では都県域毎の状況に応じた営業活動に取り組みました。

### (1) 貯金業務

東日本信漁連誕生記念貯蓄キャンペーン等の推進活動を実施しましたが、水揚げ不足・需要の低迷により貯金流出し、令和3年9月末の貯金は6,304億円（前期末比▲77億円）の実績となりました。

令和3年度下期は当連合会の資産に見合った調達に努めます。

### (2) 貸出業務

水産業競争力強化緊急事業等活用による設備資金、ローンキャンペーンによる生活資金、新型コロナウイルス感染症対策資金等に対応することにより、令和3年9月末の貸出金は1,073億円（前期末比+47億円）の実績となりました。

令和3年度下期は厳しい漁業環境も踏まえ、資金対応に加え、会員・組合員への経営改善指導の強化に取り組みます。

### (3) 収支状況

広域再編計画に基づき、事業収益の確保、事業管理費の節減に取り組み、農林中金からの特別奨励金もあったことから、令和3年度上期の事業実績は当期剰余金214百万円を計上することができました。

## 2. 主要な取組み

令和3年度上期は「広域再編計画」に基づき、以下の取組を実施いたしました。下期も経営の安定運営・効率化、漁業金融機能・内部管理体制の強化に努めてまいります。

### (1) 経営の安定運営と効率化

- ① 令和4年4月の愛知県信漁連との合併に向けた準備
- ② 経営管理委員会・理事会・各種委員会の適切な運営

### (2) 浜に出向く体制の構築と漁業金融機能の強化

- ① 各県の漁業情勢・支店体制等を踏まえた漁業金融態勢の構築・機能強化
- ② 会員・組合員のニーズに基づく資金対応、統一キャンペーンの実施

### (3) 内部管理体制の強化

- ① 組織全体としての一体感の醸成・本支店間のコミュニケーション強化
- ② 様式統一等による審査態勢の強化
- ③ 公認会計士監査に向けた準備

### 3. 主要勘定残高の状況

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
貯金	630,387	638,070	659,103
貸出金	107,305	102,556	103,938
預け金	521,783	530,941	548,238
有価証券	12,143	13,460	14,015

### 4. 損益の状況

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
経常利益	245	507	741
当期剰余金	214	442	315

### 5. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,706	2,744	3,007
危険債権	3,080	4,661	3,537
要管理債権	250	252	508
不良債権合計	6,036	7,657	7,053
正常債権	101,837	95,525	97,495

令和3年9月末の債権額は次の方法により算定しています。

- ① 各債権額は令和3年3月末時点を基準として、対象債権残高を修正しています。
- ② 令和3年3月末以降に債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、9月末時点の対象債権残高を修正しています。

- (注1) 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
- (注2) 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- (注3) 「要管理債権」とは、基本的には、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。
- (注4) 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権をいいます。

## 6. リスク管理債権

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
破綻先債権額	1,708	1,679	1,912
延滞債権額	4,057	5,714	4,615
3ヶ月以上延滞債権額	0	0	59
貸出条件緩和債権額	250	253	428
合計	6,014	7,646	7,014

## 7. 金利リスクに関する事項

IRRBB1 金利リスク

(単位:百万円)

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当半期末	前半期末	当半期末	前半期末
1	上方平行シフト	1,556	1,120	1,374	1,068
2	下方平行シフト	0	0	124	49
3	スティープ化	1,654	1,479		
4	フラット化	31	334		
5	短期金利上昇	197	208		
6	短期金利低下	0	0		
7	最大値	1,654	1,479	1,374	1,068
		ホ		ヘ	
		当半期末		前半期末	
8	自己資本の額	26,788		27,584	

金融庁・農林水産省告示第5号「漁業協同組合等の自己資本の充実の状況等についての開示事項」に基づき算出しております。

## 8. 単体自己資本比率

(単位:%)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
単体自己資本比率	12.06	11.90	11.96

令和3年9月末の自己資本比率は、令和3年3月末時点の自己資本の額を基準としておりますが、令和3年3月末以降に自己資本の額に大きな変更が生じ、自己資本比率に影響がある場合は必要な修正をしています。

○記載金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。  
そのため合計欄等が一致しない場合があります。